

学年・教科	第2学年	G・S	担当者 長谷川優人
-------	------	-----	-----------

学習目標 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること。

指導計画		学習内容
①PROGRAM 1 ②Step 1 ③PROGRAM2 ④Power Up1 ⑤Step2 ⑥PROGRAM3 ⑦Our Project 4 ⑧Reading 1 ⑨Power Up2	1 学 期	予定や 未来 のことを表す表現 (be going to 、 will) 「～することを楽しむ」と表す表現 enjoying 、 動名詞 ②簡単な表現で言いかえる練習 ③接続詞 (that, when, if ④天気予報に関する表現や語彙 ⑤魅力を伝えるためのコツを知る ⑥to 不定詞 ⑦海外でヒットするラーメンのCMをつくろう ⑧まとまりのある物語を読む “ The Three ⑨電話で用いる英語の表現
⑩PROGRAM 4 ⑪Power Up3 ⑫Steps3 ⑬PROGRAM 5 ⑭PROGRAM6 ⑮Power Up4 ⑯Steps4 ⑰Our Project 5 ⑱Reading 2 ⑲PROGRAM7	2 学 期	⑩「～できて嬉しいです。」等と気持ちの理由を表す表現 must / must not / have to ~ / don't have to ⑪レストランでのやりとり ⑫わかりやすい見出しをつけよう ⑬「～の仕方」 how to といった「疑問詞 + to」の表現 「look + 形容詞」などの表現、「give + 人 + 物」の表現 ⑭比較級「～よりも…」、最上級「もっとも～」 as ~ as … 「と同じくらい～」などの表現 ⑮メールで近況報告をしよう ⑯相手に分かりやすい説明をしよう ⑰日本のおすすめスポットを紹介しよう ⑱まとまりのある物語を読む “Friendship beyond Time and Borders ⑲like ~ better than … 「より も～が好き」 teach 等 + 人 + how to ~ 「人に～の仕方を教える」等の表現
⑳PROGRAM8 ㉑Power Up5 ㉒Steps5 ㉓Our Project 6 ㉔Reading 3	3 学 期	㉑「～される た」受け身の表現, by ~ を用いた受け身の表現 by 以外の前置詞を使う受け身の表現 ㉑飛行機のアナウンスを聞こう ㉒説得力のある説明をしよう ㉓My Hero の魅力を伝えよう ㉔まとまりのある物語を読む “Apollo 13 “

観点別評価の観点と主な方法について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	知識 単語や文法などを理解している。	・今までに習った内容を活用しながら、その場に応じた適切な表現を使って話したり、書いたりする。 ・まとまりのある内容を聞いたり読んだりして必要な情報を捉える。	・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。 ・見通しを立てたり振り返ったりしながら、学習を進めている。
評価方法	▶授業内ワークシート ▶小テスト ▶定期テスト ▶パフォーマンステスト など		▶自己評価 ▶他者評価 ▶パフォーマンステスト ▶授業内

<学習のアドバイス>

新しい単語が出てきたら、積極的に辞書を引いて意味を調べましょう。新しい文法事項（英文の作り方のルール）を徹底的に理解しましょう。計画的にワークを進めることが良い復習になります。テスト前までにワークを2回解いてみるのが理想です。また、間違いを恐れず積極的に英語を使ってみるのが上達のポイントです。

<使用教材>

- ・教科書 SUNSHINE ENGLISH COURSE2
- ・ワーク「英語ラボ②」（正進社）
- ・英語マスターノート（明治図書）